

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37210	老人福祉論	梶原稚子・山下祐司			2	選択	1・2年前期

科目の概要

高齢化や核家族化の進行などを背景に、介護を社会全体で支えることを目的とした介護保険制度が2000年に創設されました。介護保険制度を学ぶとともに、高齢者の生きがい活動を支援するために、高齢者への影響が大きい疾病・障害を学びます。(ディプロマ・ポリシー①②③)そして講義で学んだ知識、尊厳を事例を通して考えることにより、利用者の個性を考えた対応ができるようグループワークを通して、建学の精神である真心・努力・奉仕・感謝に繋がっていきます。(ディプロマ・ポリシー①②③④)

学修内容	到達目標
① 介護保険制度、高齢者福祉にかかわる法制度を学ぶ。 ② 高齢者の尊厳、高齢者の望む生活に寄り添える支援を学ぶ。 ③ 老化、認知症、高齢者に多い疾患、障害を学ぶ。 ④ 習得した知識を用いて事例学習を行う。	① 介護保険制度、高齢者福祉にかかわる法制度を説明できる。(ディプロマ・ポリシー①②③) ② 高齢者の尊厳、高齢者の望む生活に寄り添える支援を述べるができる。(ディプロマ・ポリシー①②③) ③ 老化、認知症、高齢者に多い疾患、障害について述べるができる。(ディプロマ・ポリシー①②③) ④ 事例を通して、高齢者に必要な援助を考察できる。(ディプロマ・ポリシー①②③④)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	自分がやるべきことを見極め、自発的に取り組むことができる。講師の発問に積極的に発言できる。
	働きかけ力	
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	到達目標達成のために、他者からの意見を積極的に求めることができる。
	計画力	事前学習、レポートが多いため、計画的に自己学習を進めることができる。
	創造力	従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を意識して物事に取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	事前学習の内容を分かりやすく発表できる。講義で獲得した知識を活用し、自分の意見を自分の言葉で他者に伝えることができる。
	傾聴力	他者の意見を聴き、相手の表情やしぐさから理解を深める視点をもつことができる
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障を来す行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

梶原使用
 【テキスト名】 学びを追究する高齢者福祉
 【出版社】 教育情報出版：2017年9月より保育出版社と合併
 【ISBN】 978-4-909378-25-5

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
 資格との関連：「社会主事」「健康管理士一般指導員」

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

講義中は常にメモをとること。講義後は自己学習ノートを作成して知識の整理をする。 専門的用語が多い、レポートは適切な内容のネット記事を選んで活用する。 高齢者に多い疾患は高校生物レベルの内容は自己の能力に応じて補充しておく。	欠席した講義内容は、シラバスで確認してレポートを作成する。 講師の現場体験談はSNSや録音は禁止(個人情報保護法) 課題は講義前に教卓の上に置いておくこと。(講義開始後は未提出とする) 小テスト欠席した場合、次回講義後に実施し、点数は8割換算とする。 発表時欠席した場合、点数はなしとする。
---	---

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
	平常評価	小テスト	35	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
				④		
		レポート	49	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	6	①				
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>(S) 対象者がその人らしく生活することの重要性を理解し、イメージした生活場面を生徒自身の言葉で説明できる。</p> <p>(S) 講義中のグループワークの進行で、その場の役割を果たし、チームの課題達成に貢献できる。</p> <p>(S) 生活習慣病・高齢者・認知症者・障害者の特性を理解し、必要な支援について列挙できる。</p> <p>(A) 対象者がその人らしく生活することの重要性を理解し、その生活をイメージしテキスト等を用いて説明できる。</p> <p>(A) 講義中のグループワークの進行で積極的に参加し、課題達成に協力できる。</p> <p>(A) 生活習慣病・高齢者・認知症者・障害者の特性を理解でき、必要な支援についていくつか説明できる。</p>	<p>(B) 対象者がその人らしく生活することの重要性を理解し説明できる。</p> <p>(B) 講義中のグループワークの進行で、積極的に参加できる。</p> <p>(B) 生活習慣病・高齢者・認知症者・障害者の特性を知り、必要な支援について説明できる。</p> <p>(C) 対象者がその人らしく生活することの重要性を理解し、テキスト等を用いて説明できる。</p> <p>(C) 講義中のグループワークを協力しながら進行できる。</p> <p>(C) 生活習慣病・高齢者・認知症者・障害者の特性や必要な支援についてテキスト等を用いて説明できる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	①シラバスの説明 ②高齢者の生きがい、生活の現状と課題、高齢者福祉の発展過程 ③ライフサイクルにおける高齢期	【担当：梶原】 講義	①高齢者の生きがい、生活の現状と課題、高齢者福祉の発展過程を述べることができる。 ②ライフサイクルのイメージができ、高齢者の方々の人生を知ることの大切さを考え、事例レポートにつなげる。	(復習) p. 1～39まで読む (予習) p. 76～94	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	高齢者福祉にかかわる法制度 ①老人福祉法 ②高齢者虐待防止法 ③権利擁護と成年後見制度	【担当：梶原】 発問にて復習 講義	①老人福祉法の制定の背景、内容、改正と課題を述べるができる。 ②高齢者虐待防止法の制定の背景、虐待の種類、虐待の実態を暗記する。 ③権利擁護と成年後見制度の意味を暗記する。	(予習) p. 96～104 (復習) 第1の予習ページ	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	介護保険	【担当：梶原】 発問にて復習 講義	①介護保険創設の背景、課題を述べるができる。 ②介護保険制度の申請からサービス利用に至るまでの流れ、保険者、被保険者、財源は暗記する。	(復習) 第2週予習ページ (予習) p. 40～41	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	①高齢者の身体的特性および症状 ②高齢者に多い疾患の事前学習レポートの作成方法、学習の仕方	【担当：梶原】 発問にて復習	①老化現象の4つの共通原則、感覚器の老化、加齢による器官・機能の変化を述べるができる。 ②事前学習のレポートが作成できる。	(復習) 第3週予習ページ (予習) p. 42～48, 70～71	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	①高齢者の精神・社会的・経済的特性および症状 ②認知症ケア1	【担当：梶原】 小テスト(第1週から3週までの内容)で復習 確認、解説 講義	①高齢者の喪失とその適応、防御規制を知る。 ②高齢者の社会的特性、老いのプロセスを知る。 ③高齢者の経済的特性を知る。 ④認知症の4つの種類、BPSD、MCIを暗記する。	(復習) 第4週の予習ページ (予習) p. 72～74	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	①認知症ケアⅡ ②終末期ケア	【担当：梶原】 小テスト②(介護保険)で復習確認、解説 講義	①パーソンドケア、ケアの原則を暗記する。 ②終末期ケアのポイントを知る。	(復習) 第5週の予習ページ (予習・課題) レポート提出は求めないが高血圧(血圧のメカニズム、正常値と高血圧の定義、合併症、治療、日常生活の注意点)を自己学習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	高血圧症の理解と日常生活の注意点	【担当：梶原】 小テスト③(認知症) 復習確認、解説 講義 脈拍・血圧測定の実践	・血圧のメカニズム、正常値、治療の特徴、合併症、日常生活の注意点を述べるができる。 ・自己の脈拍と血圧の値を把握する。 脳疾患の病態、症状、検査、治療について記述できる。 ・上記が日常生活に与える影響を記述できる。 ・虚血性心疾患の病態、症状、検査、治療について記述できる。	(復習) 第6週の予習ページ (予習・課題) 糖尿病のレポート作成	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	糖尿病の理解と日常生活の注意点	【担当：梶原】 発問にて復習 事前学習を活用して講義	①糖尿病の病態、症状、検査、治療、合併症、日常生活の注意点について事前学習に追記できる。 ②事例(糖尿病を持つ高齢者の生活援助)の症例から必要な援助を考えることができる。	(復習) 講義内容を事前学習レポートに追記 (予習・課題) 大腿骨骨折のレポートを作成、事例の検討を始める	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	大腿骨頸部骨折の理解と日常生活の注意点	【担当：梶原】 発問にて復習 事前学習を活用して講義	・大腿骨頸部骨折の病態、症状、診断、治療、合併症、日常生活の注意点を記述できる。	(復習) 講義内容を事前学習レポートに追記(予習・課題) 脳梗塞・脳出血のレポートを作成	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	脳梗塞、脳出血の理解と日常生活の注意点	【担当：梶原】 発問にて復習確認 事前学習を活用して講義	・脳卒中の病態、症状、診断、治療、合併症、日常生活の注意点を記述できる。	(復習) 講義内容を事前学習レポートに追記(予習・課題) 事例レポートを作成、次回発表するため忘れずに持参すること	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	①誤嚥性肺炎 ②事例を用いて高齢者への具体的な援助を検討	【担当：梶原】 発問にて復習 講義 レポート発表 グループワーク	①誤嚥性肺炎の特徴と日常生活の注意点を説明できる。 ②事例の高齢者への生活援助が30項目、科学的根拠に基づいてレポートできる。	(復習) 講義内容を事前学習レポートに追記(予習・課題) 次回より講師交代	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	障害の理解【1】 障害の基礎的理解	【担当：山下】 講義 振り返りシートの フィードバック	障害の概念とICF、障害者福祉の理念について概説できる。	(予習) 障害者福祉の概念についてまとめる。 (復習) 障害者福祉の理念をまとめる。	180	主体性 課題発見力 規律性
13	障害の理解【2】 身体障害・知的障害	【担当：山下】 講義 振り返りシートの フィードバック	身体障害、知的障害について概説できる。	(予習) 身体障害、知的障害についてまとめる。 (復習) 身体障害・知的障害への基本的な介護の考え方についてまとめる。	180	主体性 課題発見力 規律性
14	障害の理解【3】 精神障害・強度行動障害・難病	【担当：山下】 講義 振り返りシートの フィードバック	精神障害、強度行動障害、難病について概説できる。	(予習) 精神障害についてまとめる。 (復習) 難病についてまとめる	180	主体性 課題発見力 規律性
15	障害の理解【4】 当事者・家族の心理や受容と対人援助職としての役割	【担当：山下】 講義・演習 振り返りシートの フィードバック	家族の心理や受容について概説できる。	(予習) 受容についてまとめる。 (復習) 演習で学んだことをまとめる。	180	主体性 課題発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力